

1. 幼稚園(すみれ台幼稚園)の教育目標

・じょうぶな体	明るく、すこやかな心身を育む
・やさしい心	友だちとの協調性を育む
・がんばる力	意欲と豊かな想像性を育む
・興味をもつこと	いろいろなことに興味や関心をもつ子どもになる

2. 令和3年度 事業計画の重点目標

1 園児の安全面と主体的活動となるよう環境作りを行う
2 保護者と連携して子どもについて共有を行う

3. 評価項目の達成及び取り組みの状況

(A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、十分ではない D:取り組みが不十分)

	評価項目	自己評価	内容等	関係者評価	評価・意見
1	保育の計画性、重点目標	A	コロナ禍を想定して保育計画をたてたが、職員が出勤できないため、延期や休園措置など予定通りにいかないこともあった。年間の保育予定は達成できた。	A	コロナ禍では予定通りにいかないことが多いが、やり方を変え、よくできていた。来年度もどうなるかわからないが準備を整えてほしい。
2	保育の在り方、幼児への対応	A	少人数の園であり、縦割り保育(フレンド活動)により職員はすべての園児の様子をみる体制になっているため、子どもの様子の変化に気付きやすい。	A	小さな怪我やトラブルなどでもきちんと連絡があり、他のクラスの先生も子どもをよく見ていて、声をかけてくれる様子がみられる。
3	保育者としての資質や能力	A	マニュアル対応だけでなく、これまでの経験や職員一人ひとりが相手の気持ちに寄り添って話をする必要があり、これまでの経験や資質が活かされた。	A	どの先生も経験があり、安心感がある。ただ、もう少し先生が多いほうが安心するため、可能なら増員も検討してほしい。
4	保護者への対応	A	すべての連絡をアプリで行うことで、直接会って話をする時間がとれた。面談なども実施し、家庭での子どもの様子や不安なことなどの相談対応ができた。	A	どの先生も声をかけてくれる。少人数のすみれ台幼稚園のいいところだと思う。面談も年に数回あり、話す機会が多い。
5	地域の自然や社会とのかかわり	B	昨年度に続き、あまり交流や連携ができなかったが、警察や消防などのかかわりはもてた。来年度は地域交流を行っていく予定である。	B	地域とのかかわりは、重要であり、来年度からは多く取り入れてほしい。夏祭りも近卒園生や所から参加したいとの声があり、ぜひ実施してほしい。
6	自己研修など	B	園内研修など最低限の研修は行ったが、就業時間内の自己研修のための時間の確保が今後の課題である。	B	限られた時間の中でよくやっているとと思う。無理のないよう研修に励んでほしい。

4. 重点課題等の総合的な評価結果

- ・ コロナ禍において安全面に気をつけながら、子どもの主体性やかかわりを増やしていった。予定通りにいかないこともあるが、入念な計画をたて子どもが成長できる環境づくりをしていく
- ・ 子どもの共有について伝え方の大事さがよくわかった。正確に、わかりやすく伝えることに加え、保護者と直接話す面談や保育を見てもらふ機会を増やして子どもについて深く共有していきたい

5. 今後取り組む課題等

保育計画や関わりについて

- ・ コロナ禍での安全性を継続しながら主体性やかかわりを深める保育の実施

情報の共有と伝え方

- ・ 情報をきちんと伝え、共有できるように機会を増やし、共有する

安全面(防犯)の強化

- ・ 子どもが安心して過ごせるよう、自動施錠など安全面を強化する